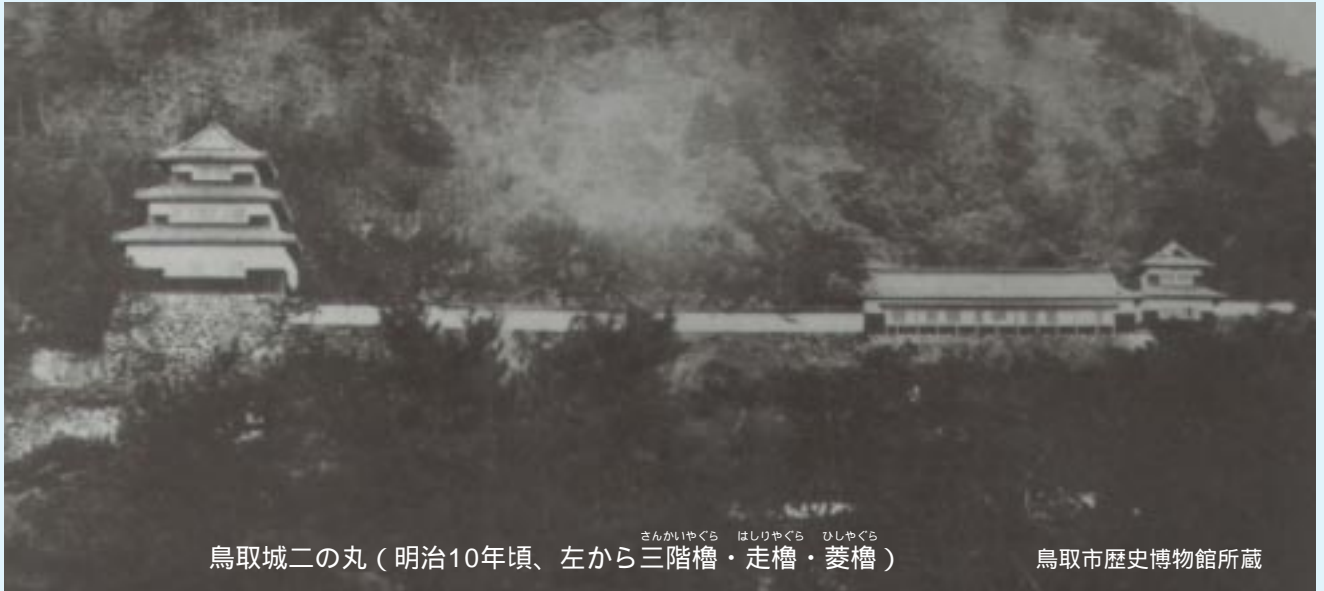


「とっとり評判記」

第1話

鳥取城ものがたり

なんでも



鳥取城二の丸 (明治10年頃、左から三階櫓・走櫓・菱櫓)

鳥取市歴史博物館所蔵

こだまちゃん：わあ、すごい建物だね。これはどこにあるの？

やまびこ博士：この写真の建物は、むかし、久松山にあった「鳥取城」だよ。

こだまちゃん：久松山って、鳥取駅からもよく見える山だね。へえ、こんなお城があったんだ。

やまびこ博士：現在の鳥取県は、江戸時代には「鳥取藩」といって、「池田」家という大名の領地だったんだよ。久松山の鳥取城は、その殿様が住む「居城」だったんだ。

こだまちゃん：いつごろ建てられたものなの？

やまびこ博士：戦国時代、湖山池のほとりにあった天神山城主だった山名家によって、出城として築かれたのが最初といわれていて、はじめのころは、久松山のてっぺんに作られた小さな城だったんだよ。

こだまちゃん：それがだんだん大きく広げられていったんだね。

やまびこ博士：山のてっぺんでは、戦争のためには便利だけれど、領地を管理するには不便だったので、平和な時代に移るにつれ、主要な施設は山のふもとに作られるようになったんだ。江戸時代の池田家の殿様たちは、ふもとの「二の丸」や「三の丸」に御殿という住宅を作って住んでいたんだよ。

こだまちゃん：二の丸が今の仁風閣の上の石垣、三の丸は鳥取西高校のある場所なんだね。

やまびこ博士：そして三の丸の上には「天球丸」があったんだよ。鳥取城は、山の頂上の天守閣に、天球丸と二の丸のふたつの三階櫓が並び立っていて、壮大な姿を誇っていたんだ。

こだまちゃん：その鳥取城は、どうしてなくなってしまったの？

やまびこ博士：天守閣は元禄5年（1692）に落雷で焼け、ほかの建物も享保5年（1720）の大火事のために、ほとんどなくなってしまったんだ。

こだまちゃん：じゃあ、お城はそのときになくなってしまったの？

やまびこ博士：いやいや、この時は、三の丸に御殿と政治を扱う走櫓が、二の丸にお城の象徴として三階櫓が再建されたんだ。全体の規模は小さくなったけど、このころになると、豪華な建物で殿様の力を示す必要がなくなっていたんだ。

こだまちゃん：でも、今はその建物も残っていないんだね。

やまびこ博士：明治時代になって、このとき再建された建物もみな壊されてしまい、部材も払い下げて、鳥取城は消えてしまったんだ。写真はその前に撮られたものなんだよ。

こだまちゃん：とても残念だね。お城から日本海を見渡したら、とっても気持ちよかったですらうなあ。

文責 = 佐々木孝文（鳥取市歴史博物館学芸員）